

第 10 回 猪名川構造検討部会 議事概要

- 日 時：平成 23 年 8 月 12 日(木) 9:30～12:30
- 場 所：猪名川河川流域 (集合：J R 川西池田駅～解散：J R 伊丹駅)
- 出席者：村上委員 (部会長)、池淵委員、田中委員、服部委員
(猪名川河川事務所) 谷川所長、綾木副所長、野田課長、松井課長、荘司課長、
幣守出張所長、中澤係長
(財)河川環境管理財団) 青木、出口

■ 議事次第：

1. 開 会
2. 挨拶
3. 議 事
 - 1) 平成 23 年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について
 - 2) 簡易魚道の検討について
4. 閉 会

■ 結果および主な意見：

【平成 23 年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について】

○猪名川・藻川河道浚渫工事 …①

- ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。
- ・ 猪名川ではオギが多いが、ヨシは珍しい。植生を維持するために、ヨシ原の表土を根っことともに仮置きし、掘削法面に戻し植生を復旧すること。また、仮設道路についても同様とする。
- ・ ヨシ原内の仮設道路は必要最小限とすること。

○名神藻川橋・尼崎市上水道藻川水管橋 構造物保護 …②

- ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

○天津地区低水護岸補修工事 …③

- ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。
- ・ ツルヨシを除去し、礫河原の確保に努めること。

○利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第 2 サイフォン、猪名川第 3 サイフォン 構造物保護 …④

- ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

○名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護 …⑤

- ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

○伐採区域

- ・ハリエンジュの伐採は問題がない。但し、ヒメボタルに配慮し、表土を必要以上に乱さないこと。
- ・上流部のハリエンジュの林床部分の整備については、ヒメボタルの生息の面からは疑問が残る。
- ・ハリエンジュを除去するためには伐採だけで抜根する必要はない。除根すると表面が荒らされ、ヒメボタルの生息地を乱すこととなる。
→ハリエンジュの伐採については問題ないが、表土を必要以上に乱さないこと。また、具体的な伐採に当たっては、これまでどおり「兵庫県立人と自然の博物館」の八木主任研究員にヒヤリングを行う。

【簡易魚道の検討について】

○三ヶ井井堰(現地確認)

- ・取水堰については、簡易魚道として整備されたが、洪水により魚道が変形しており、井堰も含め長期的な課題として検討を進めることが必要である。

○高木井堰

- ・魚は水の流れに逆流するように遡上していく。取り敢えず作って効果を確かめることができればいいのだが。両サイドに滯筋ができた場合は、その両側に必要となってくる。
- ・現在の右岸の取水路を魚道として使えば良いが、管理等も含め地元との協議が必要となり困難であろう。
- ・魚は水の流れに向かって遡上する。年間を通して水がどのように流れているのか、魚がどのように遡上しているかを調べておく和良好的計画につながる。
→高木井堰の魚道は、右岸に配置する案が良いが、年間を通して水の流れる場所等について確認しておくこと。

○久代北台井堰

- ・現在、流水は低水敷全面に流れているが、水が少なくなると何処かに偏って流れることが予想される。年間を通して水のある所、時期等について確認する必要がある。
- ・魚は蛇行して遡上するが、魚巣を深くしておく必要がある。
- ・魚の習性として、後戻りをすることがないため、水流の末端部に魚道の入口があること、また、遡上しきったところに水深がないと、遡上に影響がある。
- ・滯筋の状況と現在の地形から魚の遡上を考えると、左岸側に魚道を設けるのが好ましいが、この場合堰を一部切り下げる必要があり無理であろう。また、堰の上部には土砂が溜まる事も考えられる。
→魚道の設置位置は原案どおりとするが、年間を通して水の流れる場所等について確認する。また、詳細については田中委員の指導を得る。

以 上